

佐賀県労連第43回評議員会を開催

野党統一候補の実現で安倍政権を終わりにしよう

佐賀県労連は5月14日教育会館4階（高教組会議室）において第43回評議員会を開催し憲法キャラバンの実施や参議院選挙に向けて統一野党候補の実現、2000万署名の推進、組織拡大・強化などを含む夏季闘争方針を確認しました。評議員からは賃カツ裁判で高裁に進むこと（高教組）、16春闘で3年後の嘱託職員の正規化するという成果を勝ち取った（コープさが生協労組）。組織化に向けて魅力ある組合作りをすすめたい（建交労）などの発言がありました。またユニオンからは市内の塾で賃金の一方的な切り下げに対するたたかい、パワハラに対するたたかいについて当事者が訴えをおこないました。



佐賀県労連青年部

職場交流学習会&キックベースボール大会

佐賀県労連青年部は5月14日に職場交流学習会とキックベースボールを開催、全医労、全建労、全労働、生協労組、医療生協労組などから約30名が参加。午前中は頭、午後は体を熱くしながら交流しました。

学習会については、4単組から18名の参加者で行われました。各単組の職場紹介や単組が抱える問題、運動方針について代表者が発表し、意見交換を行いました。参加者同士での意見交換は少なかったですが、お互いの職場を知る少ない機会を作ることが出来たと考えています。

午後から5月とは思えない炎天下のなかキックベースボールをおこないました。みんな小学生以来ということでルールもわすれていましたが、佐賀中央法律事務所から助っ人参加の松永さんが地域の子供会で使っているボールやベースを持ち込んでもらうとともに、審判まで引き受けていただきました。くじ引きで3チームに分け、自己紹介をおこないチーム名、キャプテンなどを決め練習後に試合に臨みました。試合では最初はミスが目立ちましたが回を重ねるごとに連携もよくなり、一点を争う白熱した試合となりました。試合後には懇親会も行いさらに親睦を深めました。引き続き、青年同士が横の繋がりを作る取り組みを今後も設けていきます。

